

県立高等学校適正化実施計画(案)概要

平成30年6月8日

奈良県教育委員会

コンセプト 魅力と活力あるこれからの高校づくり

1 学校再編

- (1) 西の京、平城、登美ヶ丘 ⇒
(仮称)県立国際高等学校
(仮称)奈良県立大学附属高等学校

【(仮称)県立国際】(2020年開校) 現登美ヶ丘校地
・国際バカロレア認定を目指す
・県立中学校併設予定(2023年)

【(仮称)奈良県立大学附属】(2021年開校予定)
現西の京校地
・地域づくりに関する学科の設置
・奈良県立大学との高度な高大連携

- (2) 大淀、吉野 ⇒ (仮称)県立奈良南高等学校

【(仮称)奈良南】(2021年開校)現大淀、吉野校地
・普通科(看護・医療コース)
・総合学科(建築・森林管理等)
・(仮称)奈良県フォレストアカデミーとの連携・接続
・伝統建築専攻科(二級建築士)
・情報科(小・中・高を通じた情報教育)

- (3) 大宇陀、榛生昇陽 ⇒ (仮称)県立宇陀高等学校

【(仮称)宇陀】(2022年開校)現大宇陀、榛生昇陽校地
・総合学科(保育・福祉等)、介護福祉士の受験資格
・情報科(小・中・高を通じた情報教育)

2 教育内容の再編成

- (1) 奈良朱雀 ⇒ (仮称)県立奈良商工高等学校
・(2021年～)工業科と商業科が協働した課題研究

- (2) 高円 ⇒ (仮称)県立芸術高等学校
・(2021年～)普通科における複数の芸術科目必修化
やWebデザインなど情報デザインに関する学習を充実

- (3) 奈良情報商業 ⇒ (仮称)県立商業高等学校
・(2021年～)情報科を廃止、ネット・アンテナショップの
出店などアントレプレナーシップ教育を推進

- (4) 奈良北に情報に関する学科またはコース設置
・(2020年～)大学等と連携した教育課程を編成

- (5) 定時制・通信制課程の再編成
・通級指導の研究を実施
・(2020年～)五條高校定時制課程募集停止

3 教育環境の整備

- (1) 学校施設設備の整備
(2) 耐震整備を2022年度までに完了
奈良高校を平城高校跡地に移転
(3) 地域と共にある学校づくり

県立高等学校適正化実施計画
(案)

平成30年6月8日

奈良県教育委員会

目 次

I	基本的な考え方	P1
II	計画の内容	P2
1	「魅力と活力あるこれからの高校づくり」のための再編	P2
(1)	県立西の京高等学校・県立平城高等学校・県立登美ヶ丘高等学校	P2
(2)	県立大淀高等学校・県立吉野高等学校	P3
(3)	県立大宇陀高等学校・県立榛生昇陽高等学校	P3
2	「魅力と活力あるこれからの高校づくり」のための教育内容の再編成	P4
(1)	県立奈良朱雀高等学校	P4
(2)	県立高円高等学校	P4
(3)	県立奈良情報商業高等学校	P4
(4)	県立奈良北高等学校	P4
(5)	定時制・通信制課程の再編成	P4
3	「魅力と活力あるこれからの高校づくり」のための教育環境の整備	P5
(1)	魅力と活力ある高校づくりを支える学校施設設備の整備	P5
(2)	耐震整備の早期完了とそのため既存校舎の有効活用	P5
(3)	「地域と共にある学校づくり」の更なる推進	P5
III	計画の期間等	P6
別表	年次計画（予定）	P7

I 基本的な考え方

少子高齢化やA I ・ I o Tなどの進展、グローバル化の加速など、変化がますます激しくなるこれからの時代を生きる子どもたちには、予測困難な社会の変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して、自らの可能性を最大限に発揮し、自ら人生を創出することが求められます。

このような時代の要請に学校が応える必要があることから、2018（平成30）年4月、奈良県教育委員会では、10年ごとに改訂される高等学校学習指導要領等も踏まえながら、時代の変化に対応した新しい高校づくり、社会や地域とつながる教育の推進、教育内容や校名の見直し等により、「魅力と活力あるこれからの高校づくり」を推進するための方針として「県立高等学校適正化推進方針～高等学校教育の質向上と再編成のために～」(以下、「方針」という。)を策定しました。

この「県立高等学校適正化実施計画」は、方針に沿って今後概ね10年間で県立高等学校において「魅力と活力あるこれからの高校づくり」を進めるために質向上と再編成を図るための具体的な計画について検討を行い、とりまとめたものです。

II 計画の内容

1 「魅力と活力あるこれからの高校づくり」のための学校再編

(1) 県立西の京高等学校・県立平城高等学校・県立登美ヶ丘高等学校

⇒ (仮称) 県立国際高等学校・(仮称) 奈良県立大学附属高等学校

教育内容等	<p>[(仮称) 県立国際高等学校]</p> <ul style="list-style-type: none">○国際科を設置し、グローバル教育を推進。○国際バカロレア認定を目指すこととし、2023年に県立中学校を併設。(予定) <p>[(仮称) 奈良県立大学附属高等学校]</p> <ul style="list-style-type: none">○「奈良の再発見を通して日本と世界に貢献する」を建学の精神とし地域創造学部を有する奈良県立大学との高度な高大連携を展開。○(仮称) 奈良県立大学附属高等学校には、普通科及び地域づくりに関する学科を設置し、地域づくりに貢献できる優れた人材を育成するとともに、大学における学びへのアプローチとなる教育を推進。
使用校舎	<p>[(仮称) 県立国際高等学校]</p> <ul style="list-style-type: none">○現県立登美ヶ丘高等学校 <p>[(仮称) 奈良県立大学附属高等学校]</p> <ul style="list-style-type: none">○現県立西の京高等学校

※ (仮称) 奈良県立大学附属高等学校の設置者は、公立大学法人奈良県立大学とする。

(仮称) 奈良県立大学附属高等学校の教育内容や開校年度等を含む管理運営に関する具体的な検討を行うため、奈良県立大学及び県教育委員会による協議会を設置する。

(2) 県立大淀高等学校・県立吉野高等学校
⇒ (仮称) 県立奈良南高等学校

教育内容等	<ul style="list-style-type: none"> ○普通科に看護・医療に関するコースを引き続き設置。 ○総合学科を新たに設置し、建築や森林管理などに関する系列を設置。 ○二級建築士受験資格を取得できるとともに伝統建築を専門的に学ぶことができる専攻科を新たに設置。 ○森林に関する系列においては、(仮称) 奈良県フォレスト・アカデミーと連携・接続。 ○情報科を設置し、小・中・高等学校を通じた情報教育を展開。
使用校舎	○現県立大淀高等学校及び現県立吉野高等学校

(3) 県立大宇陀高等学校・県立榛生昇陽高等学校
⇒ (仮称) 県立宇陀高等学校

教育内容等	<ul style="list-style-type: none"> ○総合学科を設置し、福祉に関する系列において、介護福祉士の受験資格を得ることができる教育課程を編成。 ○高等学校既卒者や外国人人材などを対象とした介護人材の育成のために、専攻科の設置を検討。 ○情報科を設置し、小・中・高等学校を通じた情報教育を展開。
使用校舎	○現県立大宇陀高等学校及び現県立榛生昇陽高等学校

2 「魅力と活力あるこれからの高校づくり」のための教育内容の再編成

(1) 県立奈良朱雀高等学校

⇒ (仮称) 県立奈良商工高等学校

- 工業科と商業科が協働しての課題研究に取り組むなど、ものづくりとビジネスを共に学べる学校としての取組を推進。
- 県内企業との連携によるインターンシップを充実。

(2) 県立高円高等学校

⇒ (仮称) 県立芸術高等学校

- 普通科において、第2・3学年での複数の芸術科目の必修化や情報デザインに関する学習の充実等により芸術教育を推進。

(3) 県立奈良情報商業高等学校

⇒ (仮称) 県立商業高等学校

- 情報科を廃止し、商業科のみを設置する高等学校として、ネット・アンテナショップの出店などアントレプレナーシップ(起業家精神)教育を推進。

(4) 県立奈良北高等学校

- 2020年度に高度な情報に関する学科またはコースを設置し、大学等と連携した専門的な学習が可能となる教育課程を編成。

(5) 定時制・通信制課程の再編成

- 定時制課程における通級による指導に関する研究を実施。
- 県立五條高等学校定時制課程を廃止。
(2020年度から募集停止)

3 「魅力と活力あるこれからの高校づくり」のための教育環境の整備

(1) 魅力と活力ある高校づくりを支える学校施設設備の整備

- 学校施設整備の諸課題に対応するため、中・長期的な学校施設整備の方針・計画（長寿命化計画等）の検討に着手。
- 各学科等における教育の充実のための施設設備の整備の他、ICT環境の充実等、魅力と活力ある高校づくりを支える教育環境を整備。

(2) 耐震整備の早期完了とそのための現存校舎の有効活用

- 耐震整備（改築）は、2018年度に基本設計を行い、2022年度までに完了。
- 耐震化の早期完了のため、改築が必要な奈良高等学校を、現平城高等学校跡地に移転。

(3) 「地域と共にある学校づくり」の更なる推進

- 全ての高等学校で、コミュニティ・スクールを導入するなど「地域と共にある学校づくり」を更に推進。
- 現平城高等学校の再編により、学年進行で生徒が減少する中、地域との連携を維持するため、県立奈良高等学校及び（仮称）県立国際高等学校と地域との協議会を2020年度から設置。

Ⅲ 計画の期間等

この計画の対象期間は、計画を策定した日から、2027年度までとします。
なお、計画の対象期間中においても、魅力と活力ある高校づくりの推進のため
不断の検討を行うこととし、必要に応じて、学科改編等の措置を講じることと
します。

別表 年次計画（予定）

校名	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	(平成30年度)	(平成31年度)	(平成32年度)	(平成33年度)	(平成34年度)	(平成35年度)
県立 西の京高等学校 ※1			次年度募集停止	(第2,3学年のみ在籍)	(第3学年のみ在籍)	閉校
県立 平城高等学校		次年度募集停止	(第2,3学年のみ在籍)	閉校 ※4		
県立 登美ヶ丘高等学校		次年度募集停止	(第2,3学年のみ在籍)	(第3学年のみ在籍)	閉校	
(仮称) 県立 国際高等学校		次年度募集開始	開校(校地: 現登美ヶ丘高等学校)			
(仮称) 奈良県立大学 附属高等学校 ※2			次年度募集開始	開校(校地: 現西の京高等学校)		
県立 大淀高等学校			次年度募集停止	統合		
県立 吉野高等学校			次年度募集停止			
(仮称) 県立 奈良南高等学校			次年度募集開始	開校(校地: 現大淀高等学校・吉野高等学校)		
				次年度募集開始	設置(専攻科)	
県立 大宇陀高等学校			次年度募集停止	(第2,3学年のみ在籍)	統合	
県立 榛生昇陽高等学校				次年度募集停止		
(仮称) 県立 宇陀高等学校				次年度募集開始	開校(校地: 現大宇陀高等学校・榛生昇陽高等学校)	
県立 奈良朱雀高等学校			次年度募集停止	校名変更		
(仮称) 県立 奈良商工高等学校			次年度募集開始	開校(校地: 現奈良朱雀高等学校)		
県立 高円高等学校			次年度募集停止	校名変更		
(仮称) 県立 芸術高等学校			次年度募集開始	開校(校地: 現高円高等学校)		
県立 奈良情報商業高等学校	次年度募集停止 ※3		次年度募集停止	校名変更		
(仮称) 県立 商業高等学校			次年度募集開始	開校(校地: 現奈良情報商業高等学校)		
県立 奈良北高等学校			設置(高度な情報に関する学科/コース)			
県立 五條高等学校(定時制)		次年度募集停止	(第2,3,4学年のみ在籍)	(第3,4学年のみ在籍)	(第4学年のみ在籍)	閉課程
県立 奈良高等学校				移転	開校(校地: 現平城高等学校)	

※1 県立西の京高等学校の募集停止時期は、(仮称) 奈良県立大学附属高等学校の開校時期に応じて今後決定。

※2 (仮称) 奈良県立大学附属高等学校の開校時期は、奈良県立大学と県教育委員会からなる協議会において今後決定。

※3 総合情報科のみ募集停止。

※4 第3学年は(仮称) 県立国際高等学校へ学籍異動。